

個別施策の現状と課題、取組の方向性

1 岩手で、世界で活躍する人材の育成

【現状と課題】

1 東日本大震災津波の記憶の風化の懸念

- ・東日本大震災津波の教訓や経験の継承が必要
- ・復興・発展を支える地域の担い手の育成の推進が必要

2 児童生徒の興味関心や適性にに基づく進路実現

- ・学校全体で計画的・組織的にキャリア教育の推進が必要
- ・生徒が職業について知り、自らのライフデザインについて考える機会の充実が必要

【目指す姿と目指す姿を実現するための取組の方向性】

1 「いわての復興教育」などの推進

目指す姿

- ・児童生徒が復興教育の理念に基づく「いきる」「かかわる」「そなえる」という3つの教育的価値を身に付けている。
- ・東日本大震災津波の教訓等を後世に伝承している。

取組の方向性

- ・内陸部と沿岸部の学校間、小・中・高・特別支援学校の異校種間の交流、家庭・地域・関係機関と連携した「いわての復興教育」の取組の充実
- ・「いわての復興教育」プログラムや副読本、絵本の効果的な活用、「いわての復興教育」の実践発表会の開催など、県内全ての学校が教科横断的な復興教育の推進
- ・学校と地域が連携し、岩手の歴史や偉人、豊かな自然・文化等を探究する学習や、地域活動への積極的な参加を促し、地域産業を理解する取組や地域の課題解決を図る学習、伝統文化を継承する取組などの地域の担い手の育成の推進

2 キャリア教育の推進とライフデザイン能力の育成

目指す姿

- ・キャリア教育が充実し、総合生活力や人生設計力の育成が図られている。
- ・各分野における専門知識や技術の習得・向上の充実が図られている。

取組の方向性

- ・各学校が作成した「キャリア教育全体計画」に基づくキャリア教育の推進
- ・社会人講師によるライフデザインに関する講演や社会人との交流会等の実施
- ・就業支援員等を活用した生徒の適性を踏まえた就職指導や地元企業と連携した教育活動の充実
- ・企業見学会や企業ガイダンスの開催など県内の産業界等と連携強化

1 岩手で、世界で活躍する人材の育成

【現状と課題】

3 グローバル化の急速な進展
・児童生徒の英語力の向上を図る取組の推進が必要

4 デジタル人材等の育成

・IoTやAIなど最新のデジタル技術やデータを効果的に活用し、新たな価値の創造につなげることができる人材の養成が必要

【目指す姿と目指す姿を実現するための取組の方向性】

3 岩手と世界をつなぐ人材の育成

目指す姿

・世界や地域で活躍するグローバル人材、グローバル人材が育っている。

取組の方向性

・海外派遣等による国際交流の機会や県内に居住する外国人・留学生等との交流を深める体験機会の充実
・ALT等を活用した指導の充実やデジタル教科書等のICTの活用などによる児童生徒の学習意欲の向上
・英語担当教員の英語指導力向上に向けた実践的な研修をはじめとする各校種での教員研修の充実

4 イノベーションを創出する人材の育成

目指す姿

・岩手の産業や地域を支える人材、世界で活躍する人材など、優れた才能をもった児童生徒が育っている。

取組の方向性

・外部専門人材の活用による講演や研究事業等、理科・数学への関心や児童生徒の科学技術・ものづくりへの探究心を高める取組の推進
・産業界と連携し、課題解決能力と創造的な発想力を持ち、これからの技術革新や市場ニーズの変化に柔軟に対応できる人材の育成

2 確かな学力の育成

【現状と課題】

1 中教審答申「『令和の日本型学校教育』の構築を目指して」

・目指すべき「令和の日本型学校教育」の姿＝「全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びの実現」

2 学力向上に向けた取組の充実

・各学校が作成した「確かな学力育成プラン」に基づく学校の組織的な取組の充実が必要
・児童生徒の自主的かつ計画的な家庭学習の習慣化が必要

3 希望する進路の実現

・自ら課題を発見し解決に向けて取り組む学習の推進が必要

【目指す姿と目指す姿を実現するための取組の方向性】

1 これからの社会で活躍するために必要な資質・能力の育成

目指す姿

・岩手の子どもたちが、主体的に学び他者との協働により学びを深め新たな価値を創造し、地域を活性化する力が身に付いている。

取組の方向性

・児童生徒の言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力等の学習の基盤となる資質・能力を確実に育成
・個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図りながら、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善やカリキュラム・マネジメントの推進
・新聞・統計資料などを活用した学習や教科等横断的な学びによる課題発見・解決学習
・ICT支援員等の外部人材の活用などによるICTを活用した教員の指導力向上
・いわて幼児教育センターを中核とした幼児教育推進体制の強化、市町村幼児教育アドバイザーの配置・活用の促進
・小学校におけるスタートカリキュラムの充実、小学校及び中学校における学びの状況の共有、小中・中高の合同教員研修の充実
・県と市町村との連携によるGIGAスクール運営支援センター等による広域的な活用支援や、全県統一の統合型校務支援システムの導入等
・小規模校における遠隔授業の実施

2 確かな学力の育成

【現状と課題】

1 中教審答申「令和の日本型学校教育」の構築を目指して」

・目指すべき「令和の日本型学校教育」の姿＝「全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びの実現」

2 学力向上に向けた取組の充実

・各学校が作成した「確かな学力育成プラン」に基づく学校の組織的な取組の充実が必要
・児童生徒の自主的かつ計画的な家庭学習の習慣化が必要

3 希望する進路の実現

・自ら課題を発見し解決に向けて取り組む学習の推進が必要

【目指す姿と目指す姿を実現するための取組の方向性】

2 児童生徒の実態に応じた授業改善の推進と家庭学習の充実

目指す姿

・学校、家庭、地域が連携・協働しながら、全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実が図られている。

取組の方向性

・調査の結果の効果的な活用、校種間連携の取組など、児童生徒の実態把握に基づいた授業改善
・自主的かつ計画的な家庭学習の充実
・少人数教育や学習習熟度などに応じた教育の推進

3 社会ニーズに対応した学習内容の充実などによる生徒の進路実現の推進

目指す姿

・多様な大学入試制度に対応した進学支援の充実や産業界等との連携による専門的な知識・技術等の習得を進め、高校生の希望する進路が実現されている。

取組の方向性

・生徒の課題発見・解決能力の育成に向けた大学や地域等との連携による探究的な学習の推進
・多様な大学入試制度に対応した進学支援の充実や産業界等との連携による専門的な知識・技術等の習得
・探究的な学習をSTEAMの視点から深める取組の推進による理数分野への興味・関心のかん養、理系人材等の輩出の促進

3 豊かな心の育成

【現状と課題】

1 社会的包摂

・多様性と包摂性が重視される社会の中で、多様な価値観を認め合い、様々な人々と協働していく人間性や社会性の育成が重要

2 読書活動の充実

・岩手県の児童生徒の読書率が全国と比較して高い傾向
・さらに生涯にわたって読書に親しみ、楽しむ習慣につなげる必要

3 多様な体験活動の充実

・新型コロナウイルス感染症の影響により、学校・家庭・地域が連携・協働した体験活動の機会が減少
・多様な体験活動の一層の充実が必要

【目指す姿と目指す姿を実現するための取組の方向性】

1 自他の生命を大切にし、人権を尊重する心の育成

目指す姿

・これからの社会における多様性や様々な課題等に対応した道徳教育及び人権教育が推進されている。
・家庭や地域との協働によるボランティア活動や読書活動の充実により、児童生徒に思いやりの心や感動する心が身に付いている。

取組の方向性

・多様な教育活動と関連付けたカリキュラム編成や教員の指導力向上に向けた教員研修、互いの人権や多様性を認め合う機会を重視した教育実践の普及等
・児童生徒の自殺を予防するための教員研修の充実や専門職による相談体制の整備
・道徳教育や特別活動などを活用した「命を大切にする教育」「SOSの出し方に関する教育」「心の健康の保持に係る教育」の充実
・教員が子どもの人権を尊重し多様性を包摂する視点を持ち、児童生徒一人ひとりの可能性を伸ばす教育を推進

2 学校・家庭・地域が連携した体験活動の推進などを通じた豊かな心の育成

目指す姿

・生涯を通じて伝統文化や芸術に親しむことができる豊かな素養が身に付いている。
・家庭や地域との協働によるボランティア活動や読書活動の充実により、児童生徒に思いやりの心や感動する心が身に付いている。

取組の方向性

・教育振興運動と連携した自然体験・奉仕体験・職場体験等への参加促進、放課後子供教室における学習・体験プログラムの実施等
・児童生徒が多くの本に触れ、読むことの楽しさを実感できる読書活動や、読書ボランティアと連携した読み聞かせ、学校司書の配置の拡充による学校図書館を生かした読書活動等の充実

3 豊かな心の育成

【現状と課題】

4 文化芸術活動の機会の減少

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、様々な文化芸術の鑑賞及び体験の機会が減少
- ・文化芸術活動などの一層の充実が必要

5 学校部活動の地域連携や地域クラブ活動への移行

- ・地域の文化芸術環境の充実、地域クラブ活動の実施主体として想定される文化芸術団体等の整備、専門性や資質を有する指導者の確保等が必要

6 選挙権年齢や成年年齢の引下げ

- ・選挙権年齢や成年年齢が18歳となったこと等を踏まえ、より一層児童生徒が社会に主体的に参画しようとする態度の育成が必要

【目指す姿と目指す姿を実現するための取組の方向性】

3 学校における文化芸術教育の推進

目指す姿

- ・生涯を通じて伝統文化や芸術に親しむことができる豊かな素養が身に付いている。

取組の方向性

- ・郷土の伝統文化の体験や継承活動に取り組む機会及び様々な文化芸術の鑑賞会等の機会の充実
- ・文化部の生徒を対象とした技能講習会など部活動を通じた取組の推進
- ・博物館や美術館、図書館等と連携した学校教育における文化芸術活動に関する講習会や発表の機会の支援
- ・合同部活動の導入や部活動指導員の適切な配置などによる学校部活動の質的向上等
- ・市町村の教育委員会や地域文化芸術団体などと連携した地域クラブ活動への移行に向けた取組の支援

4 主権者教育などによる社会に参画する力の育成

目指す姿

- ・主権者としての自覚と政治的教養の育成や、自立した消費者として合理的に意思決定できる力などが身に付いている。

取組の方向性

- ・関係機関と連携した探究的な学習や政治への参画意識を高める主権者教育の充実
- ・多様な契約・消費者保護の仕組みなどを理解する消費者教育の充実
- ・各教科の授業や特別活動等でのグループ活動や話合いの充実
- ・多様な教育活動を通して、児童生徒が主体的に挑戦し、多様な他者と協働して創意工夫する機会の充実

4 健やかな体の育成

【現状と課題】

1 新型コロナウイルス感染症の影響

- ・運動時間の減少、肥満である児童生徒の増加、学習以外のスクリーンタイムの増加
- ・健康の保持・増進に向けた取組の推進が必要

2 子どもたちを取り巻く社会環境の変化

- ・啓発年齢層に応じた薬物乱用対策に係る効果的な啓発が必要
- ・児童生徒が性や性の多様性に関して適切に理解し、行動することができる必要がある

【目指す姿と目指す姿を実現するための取組の方向性】

1 児童生徒の健康の保持・増進に向けた対策の充実

目指す姿

- ・児童生徒一人ひとりが自らの体力や健康に関心を持ち、「よりよい運動習慣」「望ましい食習慣」「規則正しい生活習慣」を形成し、健康の保持増進が図られている。
- ・児童生徒に生涯を通じて健康で活力ある生活を送ることができる力が身に付いている。

取組の方向性

- ・「よりよい運動習慣」「望ましい食習慣」「規則正しい生活習慣」を一体的に関連付けた組織的な取組による児童生徒一人ひとりのよりよい生活の確立
- ・体力・運動能力調査結果を踏まえた地域ごとの取組の充実
- ・児童生徒が体力や技能の程度、年齢や性別及び障がいの有無等にかかわらず、運動やスポーツの多様な楽しみ方を共有できる指導の充実
- ・食育推進の中核的な役割を担う栄養教諭をはじめ教職員の児童生徒の食に関する自己管理能力育成に向けた指導力の向上
- ・児童生徒に望ましい食習慣を身に付けさせるため生活の基盤である家庭への啓発
- ・家庭、地域、関係機関と連携した適切なスマートフォン等の利用に関する普及啓発
- ・生活習慣病や喫煙・飲酒を含めた薬物乱用等、健康に関する問題を防止するための講習会等の実施
- ・メンタルヘルスやアレルギー疾患等、多様化・深刻化する子どもの健康課題に関する学校、家庭、関係機関が連携した学校保健委員会での情報共有の一層の充実、養護教諭をはじめとした教職員の資質・能力向上
- ・児童生徒が成長過程において性に関する正しい知識を身に付け、自他共に尊重できる心を育成し行動できるよう、関係機関と連携した効果的な指導体制の構築

4 健やかな体の育成

【現状と課題】

3 適切な部活動体制の推進

・生徒の自主的・自発的な参加により行われる部活動の徹底が必要

・望ましい活動となるよう学校、保護者、外部指導者等の共通理解が必要

・部活動における暴力やハラスメントを許さない学校風土の醸成と教職員一人ひとりの体罰・ハラスメント防止に対する意識改革が必要

4 学校部活動の地域連携や地域クラブ活動への移行

・学校と地域が協働・融合した形での地域のスポーツ環境の充実が必要

・地域クラブ活動の実施主体として想定されるスポーツ団体等の整備等が必要

【目指す姿と目指す姿を実現するための取組の方向性】

2 適切な部活動体制の推進

目指す姿

・生徒の自主的・自発的な参加等による適切な部活動が推進されている。

取組の方向性

・「岩手県における部活動の在り方に関する方針」に基づく部活動休養日の設定や生徒のニーズを踏まえた適切な部活動の指導體制の推進

・体罰等の根絶を含めた部活動の方針等の共通理解を図る教職員や保護者、外部指導者等による部活動連絡会等の開催の推進

・部活動指導者による体罰・ハラスメントの根絶に向けた効果的・実践的な指導者研修の充実

・大会で勝つことのみを重視し、心身に過重な練習を強いることがないよう、スポーツ医・科学の観点から踏まえた指導者研修の充実

・合同部活動の導入や部活動指導員の適切な配置による学校部活動の質的向上

・市町村の教育委員会や総合型地域スポーツクラブ等の地域団体などと連携した地域クラブ活動への移行

・体育協会や種目別協会等との連携によるスポーツ特別強化指定校制度の推進

5 特別支援教育の推進

【現状と課題】

- 1 特別な支援を要する児童生徒の増加及びニーズの多様化
- ・全ての学校における特別支援教育に係る支援体制の充実が必要
 - ・個々の教育的ニーズに応じた指導・支援の充実が必要
 - ・特別支援学校のセンター的機能の更なる充実が必要
 - ・特別支援教育に対する地域等の支援体制の構築の推進が必要

【目指す姿と目指す姿を実現するための取組の方向性】

1 就学前から卒業後までの一貫した支援の充実

目指す姿

- ・「個別の指導計画」や「個別の教育支援計画」の作成・活用などにより、就学前から卒業後までの一貫した支援が図られている。

取組の方向性

- ・「個別の指導計画」や「個別の教育支援計画」に基づくサポート体制の充実
- ・引継ぎシートや就学支援ファイル等を活用した幼稚園・保育所等から小学校への適切な接続、進学時における学校種間の円滑な引継ぎ
- ・特別支援教育コーディネーターを中心とした組織的な校内支援体制のもと、医療・福祉・労働などの関係機関とのネットワークの構築
- ・特別支援学校と企業との連携協議会などの連携の場の設置
- ・特別支援学校技能認定制度やいわて特別支援学校就労サポーター制度の活用

2 各校種における指導・支援の充実

目指す姿

- ・通級による指導や特別支援学級、特別支援学校での指導の充実などにより、一人ひとりの教育的ニーズに対応するとともに、教職員の専門性の向上が図られている。

取組の方向性

- ・交流籍を活用した特別支援学校と小・中学校の児童生徒との交流及び共同学習
- ・通級による指導による特別な支援を必要とする児童生徒の支援
- ・地域における特別支援教育のセンター的機能を有する特別支援学校による各学校に対する適切な助言や援助
- ・長期入院を必要とする児童生徒の学習を保障するため、小・中・高等学校と特別支援学校との連携や各学校と医療機関との連携強化
- ・全ての教職員の特別支援教育の専門性の向上を図る研修の充実
- ・特別支援学校や特別支援学級におけるAT やICT機器の更なる活用

5 特別支援教育の推進

【現状と課題】

- 1 特別な支援を要する児童生徒の増加及びニーズの多様化
 - ・全ての学校における特別支援教育に係る支援体制の充実が必要
 - ・個々の教育的ニーズに応じた指導・支援の充実が必要
 - ・特別支援学校のセンター的機能の更なる充実が必要
 - ・特別支援教育に対する地域等の支援体制の構築の推進が必要

【目指す姿と目指す姿を実現するための取組の方向性】

3 教育環境の充実・県民理解の促進

目指す姿

- ・共生社会の形成に向け、県民向け公開講座の実施や特別支援教育サポーターの養成など、県民と協働した特別支援教育の体制づくりの推進が図られている。

取組の方向性

- ・「共に学び、共に育つ教育」の推進や障がいに関する正しい知識の普及を進めるための県民向け公開講座の実施
- ・授業の補助や学校生活の支援を行う特別支援教育サポーターの養成
- ・医療、福祉、心理等の専門家を活用した指導・支援の充実
- ・学校への医療的ケア看護職員の適切な配置、医療的ケア看護職員を対象とした研修の実施
- ・岩手県立特別支援学校整備計画に基づく教育環境整備

6 いじめ問題・不登校対策等への確かな対応

【現状と課題】

- 1 いじめの認知件数の増加
・学校におけるいじめ防止対策の取組の推進が必要
- 2 不登校児童生徒数の増加
・全国と同様に不登校児童生徒数が増加傾向
・不登校の未然防止、早期発見・適切な対応の推進が必要

【目指す姿と目指す姿を実現するための取組の方向性】

1 いじめ防止対策の推進といじめ事案への適切な対応

目指す姿

・「岩手県いじめ防止等のための基本的な方針」に基づくいじめ防止対策や、組織的な指導体制の充実により、いじめ事案への適切な対応が図られている。

取組の方向性

- ・「岩手県いじめ防止等のための基本的な方針」に基づく取組の徹底
- ・いじめについて考える話し合いの機会など児童生徒による主体的な活動の促進
- ・思いやりの心と社会性を育成する道徳教育や人権教育の充実
- ・いじめの積極的な認知やいじめが生じた際の迅速な対応のための児童生徒に対する定期的なアンケート調査や個人面談の実施の徹底
- ・「いじめ対応・不登校支援等アドバイザー」の配置
- ・「いわて「いじめ問題」防止・対応マニュアル」を活用した研修の実施

2 児童生徒に寄り添った教育相談体制の充実等による、不登校対策の推進

目指す姿

・ICTを活用した教育相談体制の一層の充実や関係機関と連携した教育機会の提供等により、児童生徒に寄り添った不登校対策が図られている。

取組の方向性

- ・学校心理士の資格を持つ教育相談コーディネーターの養成、教員研修の実施
- ・スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、24時間子供SOSダイヤル相談員等の配置
- ・教育支援センター、フリースクール等民間団体等の様々な関係機関と連携したICTを活用した学習支援、不登校児童生徒の社会的自立への支援
- ・校内の別室を活用した「校内教育支援センター」の体制整備の支援
- ・一人一台端末等を利用した教育相談「こころの相談室」による支援

6 いじめ問題・不登校対策等への確かな対応

【現状と課題】

- 3 スマートフォンなどの情報端末の利用時間の増加
- ・SNS上での誹謗中傷などのいじめやネット犯罪等に巻き込まれる危険が深刻化
 - ・情報モラル教育の推進や保護者への啓発活動等の推進が必要

【目指す姿と目指す姿を実現するための取組の方向性】

3 デジタル社会における児童生徒の健全育成に向けた対策の推進

目指す姿

- ・情報モラル教育の推進や保護者への啓発活動などにより、児童生徒が適切な情報活用に関する能力や規範意識を身に付いている。

取組の方向性

- ・児童生徒の情報モラルの啓発、教員研修の実施等、情報モラル教育の推進
- ・保護者や地域、関係団体等と連携したスマートフォンなどの情報端末のフィルタリングやインターネット利用のルールに関する普及啓発活動の推進

7 学びの基盤づくり

【現状と課題】

1 児童生徒の安全確保

- ・全国における通学・通園時の事件・事故の発生
- ・学校・家庭・地域や関係機関との連携による児童生徒の安全確保の強化が必要

2 学校施設の機能の向上

- ・学校施設の老朽化や新たな教育ニーズへの対応・安全な教育環境の整備と、学校施設の機能の向上が必要

3 人口減少下における教育環境の整備

- ・児童生徒の減少を背景に学校の小規模化や統廃合が進行
- ・児童生徒を取り巻く環境や社会の変化に対応する教育環境の整備が必要
- ・コミュニティ・スクールを計画的に導入し、保護者や地域の評価も取り入れた目標達成型の学校経営が必要

【目指す姿と目指す姿を実現するための取組の方向性】

1 安全でより良い教育環境の整備

目指す姿

- ・学校・家庭・地域や関係機関との連携による見守り活動や交通安全教室等の安全教育の推進により、通学時の児童生徒の安全が確保されている。
- ・学校施設の老朽化の進行や新たな教育ニーズへの対応などを踏まえ、計画的に学校の施設や設備の充実が図られている。

取組の方向性

- ・自然災害の多発など学校を取り巻く環境変化を踏まえた学校の安全計画や危機管理マニュアルの検証・改善
- ・学校安全計画に基づく事故等の未然防止策等の徹底に向けた教職員への研修、訓練の実施
- ・保護者、地域住民、関係機関の協力によるスクールガード等による通学時の見守りや通学路の定期的な点検の実施、交通安全教室や防犯教室の実施
- ・東日本大震災津波の経験・教訓を踏まえた特色ある防災教育
- ・計画的な学校施設等の長寿命化等の推進
- ・施設の木質化、省エネルギー化等脱炭素化への取組の推進、市町村、民間との共創による施設整備
- ・防災機能の強化、トイレの洋式化など新たなニーズ等に対応した学習環境の改善
- ・「生徒の希望する進路の実現」と「地域や地域産業を担う人づくり」の考え方を基本とする「新たな県立高等学校再編計画後期計画」に基づく教育環境の充実
- ・次期県立高等学校再編計画の策定に向けた検討

7 学びの基盤づくり

【現状と課題】

3 人口減少下における教育環境の整備(再掲)

- ・児童生徒の減少を背景に学校の小規模化や統廃合が進行
- ・児童生徒を取り巻く環境や社会の変化に対応する教育環境の整備が必要
- ・コミュニティ・スクールを計画的に導入し、保護者や地域の評価も取り入れた目標達成型の学校経営が必要

4 子どもの教育のための経済的支援

- ・世帯類型に関わらず、子どもの教育のための経済的支援に対する保護者のニーズが高い
- ・母子家庭や就学援助世帯の保護者への子どもの教育を経済的に支援する制度の周知が不十分

【目指す姿と目指す姿を実現するための取組の方向性】

2 生まれ育った環境に左右されない教育機会の確保

目指す姿

- ・就学に関する様々な支援制度により、家庭の経済状況など生まれ育った環境に左右されず、全ての児童生徒が安心して学ぶことのできる教育機会が確保されている。

取組の方向性

- ・小・中学校等における学用品の支援を行う就学援助、授業料の支援を行う高等学校等就学支援金、授業料以外の教育費の支援を行う奨学給付金の給付などの周知と適切な運用

3 魅力ある学校づくりの推進

目指す姿

- ・スクール・ポリシーに基づく特色ある教育活動の充実、目標達成型の学校経営や学校・家庭・地域との連携・協働の仕組みであるコミュニティ・スクールの取組の充実が図られている。

取組の方向性

- ・「まなびフェスト」や学校、家庭、地域が連携したコミュニティ・スクールの仕組みの活用による地域とともにある学校づくりの推進
- ・学校経営計画で設定した目標の達成状況等の評価結果の公表などの学校運営の改善の推進
- ・学校と地元自治体や企業、高等教育機関等との連携・協働を進める場であるコンソーシアムの活用
- ・地域等と協働して策定したスクール・ポリシーに基づく教育活動の充実

7 学びの基盤づくり

【現状と課題】

5 多様な教育ニーズへの対応

- ・不登校児童生徒や外国人の児童生徒の増加
- ・特別な支援を要する生徒の増加
- ・多様な教育ニーズに対応する指導・支援、教育機会の提供、学びの場を確保が必要
- ・多様な教育ニーズへの相談体制の充実が必要

6 教員採用試験志願者の確保

- ・全国的な教員採用試験志願者の減少の中で本県の採用試験志願者の確保が必要

【目指す姿と目指す姿を実現するための取組の方向性】

4 多様な教育ニーズに対応する教育機会の確保

目指す姿

- ・学校に通学することが困難な児童生徒や、増加が見込まれる外国人児童生徒等の学びの場など、多様なニーズに対応した教育機会が提供されている。

取組の方向性

- ・教育支援センターやフリースクール等民間団体との連携による不登校児童生徒への教育機会の確保
- ・関係機関と連携した外国人の児童生徒などの学びの場の確保、ヤングケアラーや子どもの貧困、高校中途退学等への対応
- ・関係機関との連携を図りながら特別な支援を必要とする幼児児童生徒の学習環境を整備、一人ひとりの教育的ニーズに応じた指導・支援の推進

5 教育への情熱と高い志を持つ有為な人材の確保・育成、資質向上

目指す姿

- ・教員採用試験の見直しや、必要な学びを主体的に行っていくことができる仕組みを構築し、教育への情熱と高い志を持つ有為な教員の確保と資質の向上が図られている。

取組の方向性

- ・学生等への説明会等、求める教員像や教員の魅力について発信
- ・社会情勢の変化等に応じた教員採用試験の内容等を見直し、体系的な研修の実施
- ・教員免許更新講習に代わる新たな研修制度の実施
- ・「校長及び教員としての資質の向上に関する指標」に基づき、研修履歴を活用した管理職等との対話による教員が自らが必要な学びを主体的に行う仕組みの構築
- ・先進的な研究や実践の成果の発信、多様な研修による教員の支援、研修履歴の記録の在り方の検討等、総合教育センター機能の充実
- ・教職大学院等関係機関との連携による有為な教員の育成

7 学びの基盤づくり

【現状と課題】

7 学校における働き方改革

- ・全国的に教職員の長時間勤務による負担が増加
- ・早急な「学校における働き方改革」の推進が必要

【目指す姿と目指す姿を実現するための取組の方向性】

6 「岩手県教職員働き方改革プラン」に基づく教職員の働き方改革

目指す姿

- ・管理職の適切なマネジメントやICTの活用などにより、教職員の勤務負担が軽減している。
- ・勤務環境の改善により、教職員の業務への充実感や健康面での安心感が向上し、心身共に健康で、意欲を持って子どもたちに向き合っている。

取組の方向性

- ・「統合型校務支援システム」の全県導入
- ・市町村立学校教職員の働き方改革を推進するための市町村教育委員会における働き方改革プランの策定の支援
- ・引き続き小・中学校全学年での少人数学級等の実施や、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、スクールサポートスタッフ等の配置による「チームとしての学校」の構築
- ・公立中学校や県立高等学校への部活動指導員の配置
- ・「岩手県における部活動の在り方に関する方針」に基づく部活動休養日及び活動時間の基準の徹底
- ・タイムカードによる客観的な勤務時間把握や、盆・年末年始等の学校閉庁日の設定、留守番電話等による時間外対応の体制整備など教職員の勤務時間の適正化
- ・小・中学校等を対象とした労働安全衛生管理研修会の開催
- ・長時間勤務者への産業医による保健指導、専門医によるメンタルヘルス相談窓口の設置等

8 多様なニーズに応じた私立学校教育の推進

【現状と課題】

1 私立学校に対する期待の高まり

- ・教育活動の充実に向けた支援が必要
- ・キャリア教育等により、卒業後の進路の選択肢を拡大して岩手の産業や地域を支える人材の地元定着の促進が必要

2 校舎等の耐震化等

- ・校舎等の耐震化などが全国平均や公立学校に比較して進んでいない状況

【目指す姿と目指す姿を実現するための取組の方向性】

1 各私立学校の建学の精神などに基づく特色ある教育活動の支援

目指す姿

- ・私立学校の建学の精神などに基づく多様な教育ニーズに対応した特色ある教育活動が充実している。

取組の方向性

- ・私立学校運営費補助等による各私立学校の建学の精神や中期計画に基づく特色ある教育活動の充実
- ・質の高い教育を行う私立専修学校への支援による岩手の産業や地域を支える人材定着の促進

2 私立学校の耐震化の支援や教育環境の整備促進

目指す姿

- ・幼児・児童・生徒が良好な教育環境で安全に学校生活を送ることができている。

取組の方向性

- ・私立学校耐震改修事業費補助等による施設の耐震化、安全安心な教育環境の整備を促進
- ・私立学校運営費補助等による教育の質の向上に向けた良好な教育環境の整備の促進

9 学校と家庭・地域との協働の推進

【現状と課題】

1 学校・家庭・地域の一層の連携・協働

・人口減少の進行や新型コロナウイルス感染症の影響等により、地域によっては、学校支援活動や公民館活動・子供会行事等の継続が困難な状況

・学校・家庭・地域が一層の連携・協働を図り、子どもの学びや育ちを支える仕組みづくりの推進が必要

2 学習機会や体験活動の機会の拡充

・家庭での学習が困難な子どもたちや、多様な体験を望む子どもたちに対して、より一層の支援が必要

【目指す姿と目指す姿を実現するための取組の方向性】

1 学校・家庭・地域の連携の仕組みづくり

目指す姿

・「地域とともにある学校づくり」と「学校を核とした地域づくり」の両面から、学校・家庭・地域が連携・協働し、子どもの学びや育ちを支える持続的な取組が展開されている。

取組の方向性

・コミュニティ・スクールとの連携による、教育振興運動や地域学校協働活動の充実
・市町村における地域と学校をつなぐコーディネート人材の配置の支援

2 豊かな体験活動の充実

目指す姿

・地域の実情に応じた子どもの学びの場が整備され、子どもたちが放課後等を安全・安心に過ごし、多様な体験活動を行う機会の拡充が図られている。

取組の方向性

・日常的に児童生徒が利用する放課後子供教室や放課後児童クラブ等による居場所づくり
・地域学校協働活動等による多様な体験活動の実施
・青少年の家や野外活動センターなどの社会教育施設における、周辺の自然を生かした体験活動等の充実
・従来の実体験プログラムとオンラインプログラムを組み合わせた放課後子供教室の特色ある事例の市町村等への情報提供

10 子育て支援や家庭教育支援の充実

【現状と課題】

1 核家族化の進展

- ・子育てや家庭教育についての「知恵」や「経験」の継承が不十分
- ・悩みや不安を抱える保護者の増加
- ・家庭や地域の子育て力の低下傾向
- ・子育てや家庭教育を支える環境づくりを推進し、保護者等を支援する取組が必要

【目指す姿と目指す姿を実現するための取組の方向性】

1 子育てや家庭教育に関する学習機会の提供

目指す姿

- ・子育てや家庭教育に取り組む保護者の多様なニーズに応じた学びの機会が提供されることにより、安心して子どもを生み育てていくことができる家庭環境が整っている。

取組の方向性

- ・子育てや家庭教育に関する保護者の学習活動を促進するため、県民への学習情報や学習資料の提供
- ・子育てに不安や悩みを抱える保護者に対する相談体制の充実
- ・教育振興運動と連携した自然体験・奉仕体験等への参加促進等、学校・家庭・地域が連携した多様な体験活動の推進

2 家庭教育を支える環境づくりの推進

目指す姿

- ・子育てサポーター等による保護者への子育て支援活動が充実し、地域社会全体で子育て家庭を支援する環境が整っている。

取組の方向性

- ・電話やメールによる相談窓口の周知と利用促進
- ・すこやかメールマガジン等による家庭教育に役立つ情報などの提供や教育に関する意識啓発
- ・子育てサポーター等の資質向上やネットワークづくりに向けた研修等の実施

11 生涯にわたり学び続ける環境づくり

【現状と課題】

1 県民の学習機会の充実

・生涯学習の推進を支える指導者・ボランティアの人材登録者数が増加

・スマートフォンの普及等による余暇活動の多様化

・ICTの活用など県民の学びの形の変化に対応した取組の推進が必要

・生涯を通じて楽しく学ぶ基盤となる幼少年期や中高生の読書活動の推進が必要

2 社会教育施設等における学習機会の充実

・県立社会教育施設で「岩手」をテーマとした歴史や文化等を中心とした講座に多くの参加者が来館

・県民の学びのニーズに対応する社会教育施設等における学習機会の充実やコンテンツの多様化が必要

【目指す姿と目指す姿を実現するための取組の方向性】

1 多様な学習機会の充実

目指す姿

・生涯を通じて楽しく学び、その学びがコミュニティの再生・維持・向上や地域の課題解決に活用され、生きがいを感じながら、県民一人ひとりが地域の一員として活躍している。

取組の方向性

・県立生涯学習推進センター等によるICTを活用した学びの機会や活躍の場等に関する情報の集積・提供、オンライン学習等学びの継続を支える仕組みや魅力づくり

・関係機関との連携による障がい者の生涯を通じた学習活動の推進

・障がいの理解や心のバリアフリーを推進するための研修会の実施

・特別な事情により就学困難な生徒等の個別の学習ニーズに応じた学習相談や情報提供

・図書館における資料・情報の収集・活用の促進、利用者の学習活動を支えるレファレンス

業務の充実
・子どもの読書への関心を高める読み聞かせや読書会など、幼少年期や中高生の読書活動の推進

2 岩手ならではの学習機会の提供

目指す姿

・岩手が誇る自然、文化、歴史など、あらゆる資源を学びの対象や場としながら、岩手ならではの学びを深め、県民一人ひとりが郷土に対する誇りや愛着をもって生活している。

取組の方向性

・社会教育施設等における豊かな自然、文化、歴史等の資源をテーマとした公開講座を開催等、岩手ならではの学習機会の提供

11 生涯にわたり学び続ける環境づくり

【現状と課題】

3 新型コロナウイルス感染症の影響

- ・県民一人ひとりが学んだ成果を地域課題の解決等に役立てるなど、学びと活動の機会が減少
- ・学びと活動の循環の推進が必要

4 社会教育関係者の資質向上

- ・情報リテラシーを高める取組など、県民の生涯を通じた学習活動を支援するための新たな取組が必要

【目指す姿と目指す姿を実現するための取組の方向性】

3 学びと活動の循環による地域の活性化

目指す姿

- ・全国に誇る岩手県独自の運動である教育振興運動と地域学校協働活動が総合的かつ一体的に取り組み、学校を核とした地域づくりが進められている。

取組の方向性

- ・コミュニティ・スクールの導入・充実と教育振興運動や地域学校協働活動への参加促進
- ・PTAをはじめとする各種社会教育関係団体の活動の支援、団体相互の連携・協力に向けた交流の機会の提供
- ・県立生涯学習推進センターを活用した教育分野の枠を越えた地域づくりに関する研修・交流の場の提供

4 社会教育の中核を担う人材の育成

目指す姿

- ・地域における多様な学びを支援することのできる人的体制が整い、指導者相互のネットワーク化が図られている。

取組の方向性

- ・社会教育指導員や地域づくり関係者、地域学校協働活動推進員などを対象としたICT機器の操作・利用等に関する研修会の開催
- ・研修会での交流などを通じた指導者相互のネットワーク化

11 生涯にわたり学び続ける環境づくり

【現状と課題】

5 社会教育施設等における学習機会の充実(再掲)

- ・県立社会教育施設で「岩手」をテーマとした歴史や文化等を中心とした講座に多くの参加者が来館
- ・県民の学びのニーズに対応する社会教育施設等における学習機会の充実やコンテンツの多様化が必要

【目指す姿と目指す姿を実現するための取組の方向性】

5 多様な学びのニーズに応じた拠点の充実

目指す姿

- ・地域の様々な世代が学びたい時に共に学び合うことのできる場として、社会教育施設の活用が図られている。

取組の方向性

- ・博物館等の県立社会教育施設における利便性の向上やデジタルコンテンツの充実、幅広い学びのニーズに応じた学習機会を提供する拠点づくり
- ・市町村が設置する公民館等の学びの拠点の発展に資するニーズに応じた事業支援や優れた活動の周知・交流
- ・社会教育施設の計画的な老朽化対策による維持保全、施設の整備方針の検討
- ・多様なニーズに応じた学習方法に対応したICT環境の整備

12 次世代につなげる民俗芸能や文化財の継承

【現状と課題】

1 世界に誇る文化遺産

・一戸町の御所野遺跡などの「北海道・北東北の縄文遺跡群」が世界遺産に登録(令和3年7月)

・盛岡市の「永井の大念仏剣舞」や北上市及び奥州市の「鬼剣舞」を含む「風流踊」がユネスコの無形文化遺産に登録(令和4年11月)

2 伝統文化の継承

・新型コロナウイルス感染症の影響で民俗芸能の発表の機会が減少

・少子高齢化等による民俗芸能などの地域の文化を継承する人材の減少、文化芸術活動の担い手の高齢化

3 文化財の活用

・地域活性化の取組の核となる地域資源としての文化財の次世代への確実な保存・継承と積極的な活用が必要

【目指す姿と目指す姿を実現するための取組の方向性】

1 部活動や地域と連携した取組などを通じた民俗芸能の保存と継承

目指す姿

・児童生徒の部活動などを通じた活動により、民俗芸能等の保存・継承が促進されている。

取組の方向性

・民俗芸能などの伝統文化の体験や継承活動に取り組む機会及び様々な文化芸術の鑑賞会等の機会の充実
・文化部の生徒を対象とした技能講習会など部活動を通じた取組の推進
・将来の民俗芸能の担い手の育成するため、児童生徒の部活動などを通じた取組の推進及び地域等と連携した指導環境の充実

2 伝統文化、文化財などを活用した交流の推進

目指す姿

・県の大綱と市町村の文化財保存活用地域計画に基づき、文化財の適切な保存・継承と活用が推進され、新たな文化の創造に向けた取組が行われている。

取組の方向性

・岩手県文化財保存活用大綱を踏まえた市町村の文化財保存活用地域計画の作成に係る情報提供や助言
・現地調査等による文化財保護の取組の推進
・指定文化財の所有者に対する適切な保存管理に関する指導・助言、修理等の支援
・柳之御所遺跡の発掘調査や平泉文化研究で得られた成果に基づく、県立柳之御所史跡公園の整備